

企画展「船をつくる～巨大ものづくりを学ぼう～」
開 催 報 告 書

財団法人 日本海事科学振興財団
船 の 科 学 館

1. 名 称 企画展「船をつくる～巨大ものづくりを学ぼう～」
2. 場 所 船の科学館 本館
3階マリタイムサルーン及び1階オーロラホール他
3. 会 期 自 平成21年 7月18日(土)
至 平成21年 8月31日(月)
4. 主 催 財団法人日本海事科学振興財団 船の科学館
5. 協力(順不同) 日酸 TANAKA 株式会社
三井造船株式会社
株式会社 IHI
株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド
株式会社新来島どっく
浅川造船株式会社
今治造船株式会社
社団法人日本船舶海洋工学会
NPO法人日本グッド・トイ委員会
財団法人日本海事広報協会
6. 経 費 モーターボート競走の公益資金による、日本財団の助成金を受けて実施しました。
7. 内 容
 - (1) 企画展「船をつくる～巨大ものづくりを学ぼう～」
 - 場所 3階マリタイムサルーン
 - 期間 平成21年7月18日(土)～8月31日(月)
 - 見学者数 50,245名
 - ①壁面展示「船ができるまで」
 - 会場内の壁面に、造船の一連の流れを写真、イラストを使ってわかりやすくパネルで説明しました。
 - a. 「受注」
 - b. 「設計」
 - c. 「起工」
 - d. 「資材発注」

- e. 「切断、曲げ、溶接」
- f. 「組立」
- g. 「エンジン搭載」
- h. 「塗装」
- i. 「進水」
- j. 「艤装」
- k. 「試運転」
- l. 「引渡し」

②船のうんちくコラム

造船にまつわる蘊蓄を紹介しました。

- a. 現在世界で一番大きな船は？
- b. 30万トンバルクキャリアーは起工から何日で引渡し？
- c. 20万トンタンカーの現在の平均価格は？
- d. 溶接工法はいつから使われたか？
- e. 最初の全溶接船は？
- f. 進水方法にはどんな方法があるのか？
- g. 原子力船“むつ”の進水式で支綱を切断した方は？
- h. 進水式で支綱を女性が切るのはなぜ？
- i. 溶接ブロック建造法を最初に採用した国は？
- j. 進水式でシャンパンを割るの？
- k. 船の底はなぜ赤い？
- l. ぎょう鉄ってなに？
- m. ヌルヌル塗料ってなに？
- n. バルバスバウを最初に開発した人は？
- o. 造船所の中で一番多い乗り物はなに？

③実物資料の展示

切断や溶接の作業着姿のマネキンを展示。遮光マスクで顔を覆い、ガスボンベにつないだ吹管を持たせ、溶接エプロンなどを装着させ、展示し、演出しました。

また、製図用品、鋸、船釘、リベット打ちやガス溶接の道具、進水式の記念品等の資料を展示しました。

④映像資料の上映

協力先の造船所から提供された、映像資料などを上映し、展示の補完としました。

- a. 「呉で誕生したふね（艦・船）たちー明治から平成までの進水式ー」
- b. 「今治造船グループ 世界の貿易を支える 船ができるまで」

c. 「世界最大級鉱石運搬船“brasil maru”命名・引渡し式の模様」

⑤いろいろな船の大型パズル

組み立てたり、パーツをめくることにより、操縦室、エンジン、客室、船倉の位置が分かり、スクリュープロペラやバウスラスター、アンカーなどの役割を知ることのできる船の大型パズルを制作し、遊べるコーナーを設置しました。

a. パズル1「クルーズ客船」

b. パズル2「コンテナ船」

c. パズル3「潜水艦」

⑥お絵かき&紹介コーナー

見学しに来てくれた子どもたちに、「未来の船」を創造した絵を描けるコーナーを設置し、また作品を紹介できるコーナーを設置しました。

(2) 夏休み！海と船の工作ひろば

場所 1階オーロラホール

期間 平成21年8月1日(土)～8月31日(月)

参加者数 4,416名

①ゴム動力の船

木(バルサ材)を使って、実際に水上を走るゴム動力の船の工作教室のコーナーを設置し、開催しました。参加者数 579名

②羊毛フェルトのふね

羊毛を使って、クジラが作れる教室のコーナーを設置し、開催しました。参加者数 314名

③ペーパークラフトの工作

船の科学館の本館展示場の顔とも言える弁才船“住吉丸”、その他海賊船などのペーパークラフトが作れるコーナーを設置しました。

a. ペーパーモデル「弁才船」 参加者数 417名

b. ペーパーモデル「ジェットfoil」 参加者数 603名

c. ペーパーモデル「海賊船」 参加者数 829名

d. ペーパーモデル“レインボー” 参加者数 635名

e. ペーパーモデル「クルーザー」 参加者数 436名

f. ペーパーフィギュア～ナンキョクオットセイ～
参加者数 90名

④実験コーナー

いろいろな実験を交えながら、ジャイロコンパス、伝声管や滑車など船の装備品の科学について解説しました。参加者数 278名

⑤紙芝居

絵とお話で「船のできるまで」や「海の生き物と環境」などが楽しく学べるコーナーを設置し、開催いたしました。 見学者数 129名

⑥船ごっこ

新聞紙、ビニールテープなどを使って、数種類の工作や遊びを展開し、船のことが学べるコーナーを設置し、開催いたしました。

参加者数 51名

⑦科学工作コーナー（社団法人日本船舶海洋工学会）

日本船舶海洋工学会の協力により、大学や研究所を迎えて、工作を通して船の科学について楽しく学べるコーナーを設置し、開催いたしました。

参加者数 55名

(3) 屋外鉄板切断・溶接実演コーナー

場所 屋外ポートハウス前

実施日 平成21年8月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、
22日(土)、23日(日)

見学者数 2,313名

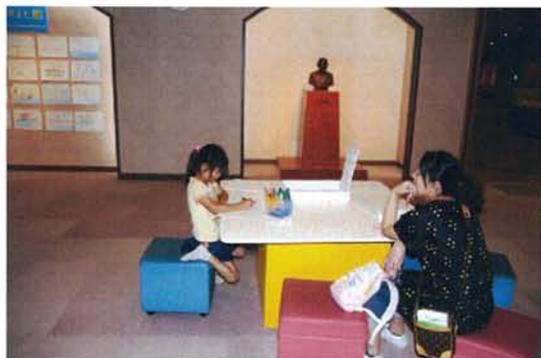
日酸 TANAKA 株式会社の協力により「溶接機デモカー」が来て、実際に造船所で行なわれている鉄板の切断や溶接が見学できるコーナーを設置し、開催いたしました。

8. 周知・広報 ホームページ、公式ブログ、チラシ配布、ポスター掲出、
新聞社及び情報誌にリリースの送付等を実施しました。

9. 開催状況写真 別添のとおり

企画展「船をつくる」会場写真





屋外 溶接・切断コーナー 会場写真

